

審議会等議事概要

平成28年度 第3回 滝川市地域包括支援センター運営協議会 議事概要

日 時	平成28年11月10日（木曜日）午後6時00分～午後6時50分
開催場所	滝川市役所 5階 庁議室
出席者	鈴木忠男委員、原岡研二委員、池田吉隆委員、青木恵子委員、佐々木哲委員、齊藤秀希委員、岡本靖男委員、深村完市委員、橘弘恭委員 事務局：國嶋保健福祉部長、黒川介護福祉課長、土橋同課長補佐、相澤地域包括支援センター副所長、加地同介護支援係長、木村介護福祉課介護保険係長
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 (議事に先立ち会長より挨拶があった。)</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 平成28年4月～9月滝川市地域包括支援センター活動報告について 事務局) 資料に基づき説明を行った。</p> <p>委 員) 3ページ(2) 物忘れ相談について1件あたり15分とのことだが、物忘れ相談プログラムと違う検査を行っているのか。</p> <p>事務局) 利用している機器は同じ機器を使用しているが物忘れ相談プログラムは簡単な内容で5分15問程度の内容。15分かかるものについてはより細かな検査となっている。始まりの5分は緊張して間違ふことや、音声で行っているため耳が遠い方などは聞き取りにくく上手くいかないこともあるが、個別の相談を行うとある程度きちんと評価できる。</p> <p>委 員) 14人のうち認知症の疑いがある方は発見できたのか。</p> <p>事務局) 今回の調査では疑いのある方はいなかった。 老人クラブなどを訪問した際に実施しているが、点数が低かったり、職員が気になる方に対しては個別に物忘れ相談をお勧めしている。</p> <p>委 員) 自動車の免許でも70歳を過ぎると認知症のテストを受けることとなっており、自分も受けたことがあるが、様々な設問があった。最近、医者への認知症に係る勉強会において、認知症テストの設問について、診療中の限られた時間内で行わなければならないことから、短時間でできるようなるべく設問を少なくするような工夫を行うべきという話も出ている。市のテストも20問ほどの設定となっているようであるが、場面によりそのような工夫も取り入れてみることも良いのかもしれない。</p> <p>委 員) 3ページ(4) 認知症カフェについて、参加したいとの思いはあるのだ</p>

が、ご家族やご本人からどのような質問があるのか不安な気持ちもある。実際にどのようなことが話されているのか。

事務局) ご家族以外の方も多くいる場であるため、その場では深刻な質問や相談にはならないようにしている。ご家族の方がどういう対応しているのか、どんなサービスがあるのかなどについてにぎやかな雰囲気でお話をされている。具体的な相談については、デリケートな内容となることもあるため、別な機会に個別相談を行うようにしている。まずはお気軽に参加していただくことを目的とした場となるよう努めている。

委員) 認知症について高い評価を受けている砂川市立病院の先生からは、徘徊などの際に地域みんなで声をかけ優しく接するということが有効であるという話を聞いたことがある。

委員) 以前に徘徊の方の対応で一緒に歩きましょうということとなり、2時間一緒に歩くということがあったが、ご家族がついて行くにしても1日や2日だけでなく毎日のことにもなるため、ご家族の負担が大きいと感じた。

事務局) 徘徊の位置探索システムの助成も行っており、携帯電話のような発信機で屋外を歩いている場合は電波の発信位置からかなりの確率で見つけられるということもある。

委員) そのシステムを常に身に付けていただくということが難しいのでは。

事務局) そのとおりである。現在、2～3cm位の大きさで靴に内蔵できるものもあるが、専用の靴でなければならず価格も2～3万円程度と高い。

委員) ご本人と信頼関係ができていないスタッフからお願いすることで持ち歩いていただくことができたという事例もあったが、なかなか信頼を得るまでが大変ということもある。

事務局) 上手く持ち歩いていただくことができたご家族は負担軽減につながるものであるが、委員のおっしゃるとおりなかなか難しい事例も多い。

(2) 平成27年度高齢者実態調査結果報告について

事務局) 資料に基づき説明を行った。

委員) 6ページ実態調査対象者構成割合の調査拒否85人の理由はどのようなものか。

事務局) 仕事などで忙しい、今のところ困ることがないなどという理由が多い。前回調査時に拒否となり今回も拒否となった場合、別途地域包括支援センターの保健師や社会福祉士が訪問し、状況把握に努めている。

委員) 前年度の調査拒否の方は次の年に訪問しているのか。

事務局) 次回調査実施地区として割り当たった際に調査している。

調査拒否となっていた方で病院や地域の方からサービスが必要になった、困っている等の連絡をいただくこともある。

(3) 平成28年4月～9月認知症初期集中支援チーム活動報告について

	<p>事務局) 資料に基づき説明を行った。</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の会議日程について、今年度において新たな「認知症グループホーム」と「小規模多機能型居宅介護」の事業所に係る地域密着型サービスの指定の審議が予定されているところであるが、当該指定申請の時期については今後の状況により流動的であることから、会長に一任された。 <p>5 閉 会</p>
会議資料	資料 第3回滝川市地域包括支援センター運営協議会次第・議事資料